

第3回歴史文化資料保全西日本大学協議会 開催要項

1. 趣旨

2018年1月に、神戸大学・東北大学・人間文化研究機構との三者で「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」についての連携協定が締結された。このプロジェクトの一環として、本協議会は、西日本を中心とした資料ネットの事務局がある大学関係者とともに、歴史文化資料の保全のための大学機能強化、大学間ネットワークと相互支援体制の構築を図ることを目的とする。

2018年度以降、これまで2度の協議会を開催し、西日本豪雨災害・台風21号被害・大阪北部地震への対応の現状と課題を共有するとともに、緊急時の広域・隣県対応、中長期的な連携・支援体制のあり方について議論し、西日本における大学間連携を進めてきた。

災害が頻発するなか、地域を主体としたネットワーク形成が各地で模索され、西日本でも地域資料保全の取り組みが進展している。そこで第3回目となる本協議会では、中四国における地域資料保全の取り組みや新たなネットワークの動きを中心に協議し、災害対策に留まらない多様な歴史文化資料の保全・継承をめぐる連携体制のあり方や、ネットワークの持続的展開に向けて議論を深めたい。

2. 主催等

主催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」
神戸大学大学院人文学研究科

協力：科学研究費特別推進研究「地域歴史資料学を機軸とした災害列島における地域存続のための地域歴史文化の創成」（研究代表者：奥村弘）研究グループ

3. 日時・会議形態

日時：2022年2月6日（日）13:30～17:00

会議形態：オンライン（zoomを用いた遠隔会議）

4. プログラム

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～13:45 趣旨説明：吉川圭太（神戸大学）

13:45～14:25 報告①：小幡尚・望月良親（高知大学・高知地域資料保存ネットワーク）
「高知地域資料保存ネットワークのこれまでの活動と今後の展望」

14:25～14:50 報告②：板垣貴志（島根大学・山陰歴史資料ネットワーク）
「島根県内における地域資料の保存・継承をめぐる取り組み
—近現代資料・戦争体験記録の市民参加調査—」

14:50～15:05 休憩

15:05～15:35 コメント：田井東浩平（高知県立高知城歴史博物館）
松岡弘之（岡山大学・岡山史料ネット）

15:35～16:50 討論・意見交換（司会：天野真志・国立歴史民俗博物館）

16:50～17:00 閉会挨拶：奥村弘（神戸大学）

【問い合わせ先】

神戸大学大学院人文学研究科（担当：吉川圭太）

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

Tel：078-803-5522（直通）／E-mail：yoshik@port.kobe-u.ac.jp（吉川）